令和8年度 岐阜聖徳学園大学スクールパートナーシップ事業 講義一覧

【教科指導】

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
1	荒木 善子	あらき よしこ	音楽	音楽	歌唱・合唱指導及び指導方法	充実した音楽活動を通して響きあう喜びを児童・生徒に体感させる。必要な指導方法を実践を通して具体的に提示する。
2	小栗 和雄	おぐり かずお	体育	体育・運動生理学	子どもが運動・体育を楽しめる授業づくり	子どもが運動を行う科学的根拠とは～健康と非認知能力～ ・アクティブ・チャイルド・プログラムを取り入れた体育授業 ・やる気スイッチをいれる指導の7か条 ・神経系の発育を促す運動遊びの実践
3	桂川 成美	かつらがわ なるみ	保育	美術・図工	一版一色木版画であらわす	一版一色木版画制作での、図案考案、墨つけ、彫り、刷り、各制作過程の要点を演習、実演、解説する。
4	加藤 拓由	かとう ひろゆき	英語	小中学校英語教育・小中連携・教員研修	小中学校外国語(活動)の言語活動と評価 学習者用デジタル教科書の利活用	小中学校外国語(活動) の言語活動ってどうすればいいの? 評価はどうするの? 教師の英語力、指導力を上げるには何をすればいいの? 小中連携のため に何をすればいいの?学習者用デジタル教科書は、どうやって使うの?主体的に学習に取り組む態度ってどうやって指導するの?自己調整学習と自由進度学習ってどう違うの?そういった学校や先生方のお悩みにずばりお答えします。
5	熊谷 慎太郎	くまがい しんたろう	体育	器械運動	器械運動の指導法	器械運動(主にマット運動、跳び箱運動)に関する技の構造や系統、技の評価の考え方、段階的な指導法、安全の観点から考える環境設定、幇助法等について考える。
6	黒田 大樹	くろだ だいき	数学	数学教育学	数学的活動を通した授業づくり	学習指導要領では、数学的に考える資質・能力を育成する上で、数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通して学習展開することを重視しています。そこで、数学的な見方・考え方や数学的活動を重視した授業づくりについて、ともに考えたいと思います。
7	鈴木 明裕	すずき あきひろ	数学	算数・数学科教育法	数学的活動の充実に向けて	数学的活動が、算数・数学授業の中心であることは分かっているが、自分の授業を振り返り「今日の子どもたちの活動は、数学的活動といえるだろうか」「子どもたちの数学的に考える資質・能力を育成しているだろうか」等と自問自答している先生は多いのではないだろうか。そのような問題についてともに考えていきたい。方法として、模擬授業による協議等も行う。
8	髙田 準一郎	たかた じゅんいちろう	社会	社会	社会科教育における教材開発論	・ドイツ、フライブルクのエコワットプロジェクトと環境政策 ・沖積低地(氾濫原) における土地利用と地域変容の教材化 ・畑繋堤(松枝輪中)に着目した輪中地帯の授業プラン
9	寺田 光宏	てらだ みつひろ	理科	理科	高校化学における「見方」(中核概念)に基づいた授業デザイン	複雑多岐に見える高校化学を5つの見方(中核概念)に基づいて、化学基礎及び化学の授業全体ををデザインする方法を参加者と一緒に検討していきます。
10	寺田 光宏	てらだ みつひろ	理科	理科教育・教育方法	プロジェクト型授業を目指して	探究・プロジェクトに基づいた学びを、通常の授業とどのように繋げるかを参加者と一緒に検討していきます。
11	中村 哲也	なかむら てつや	国語	国語	文章構成に依拠した小学校の説明的文章の指導	小学校低学年から高学年までの説明的文書をとりあげ、文章構成、段落間の関係を中心とした説明的文章の系統的指導について考察する。
12	芳賀 高洋	はが たかひろ	教職	情報教育	教育DX、生成AI、プログラミング学習	小学校～高校ICT利活用、教育DX、生成AI、プログラミング学習※90分以上のワークショップとなります。
13	林 一真	はやし かずま	教職	教科指導	児童生徒1人1台端末環境下における学習者主体の授業設計(教員研修)	児童生徒1人1台端末を使い、学習者主体の授業設計について皆さんと一緒に考えます。小・中学校対象。学習支援ソフトは、ロイロノート・スクールやGoogle for Educationを想定しています。

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
14	林 一真	はやし かずま	教職	教科指導	児童生徒1人1台端末環境下における学習者主体の授業設計（授業指導）	児童生徒1人1台端末を使い、学習者主体の授業設計について授業者と伴走し、授業支援や授業指導を行います。小・中学校対象。学習支援ソフトは、ロイロノート・スクールやGoogle for Educationを想定しています。
15	宮本賢二朗	みやもとけんじろう	音楽	音楽	指揮の基礎をまなぼう	合唱・アンサンブル・吹奏楽・弦楽部等の指揮の基礎を学びます。
16	宮本賢二朗	みやもとけんじろう	音楽	音楽	指揮のテクニックを学ぼう	合唱・吹奏楽等のコンクール曲など、強弱、速度の表現、変拍子などについて、効果的な指揮法を任意で楽譜を持ってきて実践的に学びます

【教科内容】

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
17	秋山 晶則	あきやま まさのり	社会	社会	木曽三川流域治水史	環境共生を考える一環として、木曽三川流域に展開した治水の歴史をとりあげ、史実を見極めながら、自然改造にともなう災害と地域社会の対応など、人と自然の関係史をふりかえる。
18	荒木 善子	あらき よしこ	音楽	音楽	声楽（発声・歌唱）	教員自身の”うたう力”を更に向上する為の実技指導。
19	稲垣 良介	いながき りょうすけ	体育	体育・身体教育学	着衣のまま水に落ちた場合の対処（着衣泳）の指導法	水泳領域の教育内容について、講義あるいは実技を通して考える。
20	内田 健太	うちだ けんた	国語	国語・漢文学	陽明学の思想世界	中国明代に誕生した陽明学のものの見方、考え方について、その時代背景と問題意識に照明を当て、なぜこのような「学問」が生まれたのか、かれらは何を求めどう変わろうとしたのか、そして日本人はこの陽明学に何を見いだそうとしたのかという観点から探りたい。
21	浦和博子	うらわひろこ	理科	理科	生物学	生命現象及び生物の共通性と多様性を分子遺伝学の視点から考える
22	小栗 和雄	おぐり かずお	体育	体育・運動生理学	体育現場で使えるスポーツ科学	保健・体育の指導は科学的根拠に基づいて行う必要がある。科学の進歩によって、ストレッチは瞬発力を下げる、ウォーミングアップでは怪我を予防できない、激しさに耐えなくても持久力は上がる、乳酸は疲労物質ではないなど、スポーツ科学に関する常識が覆りつつある。そこで、保健・体育の現場で使える知識や実技教材を科学的根拠に基づいて学ぶ。
23	梶山 裕二	かじやま ゆうじ	理科	理科	物理学	身近な物理現象に関して、微積分等の数学を用いて考察する。
24	川上 紳一	かわかみ しんいち	理科	理科	体験的探究的な理科授業	・研究現場における発想法や問題解決 ・アンモナイトを探る
25	川上 紳一	かわかみ しんいち	理科	地球科学	岩石を観察してわかる見分け方とでき方	火成岩と堆積岩の分類と見分け方、石からわかる歴史を探ります
26	木戸浦 豊和	きどうら とよかず	国語	国語	文学理論を援用したテクスト読解	語り手や空白、期待の地平、レトリックなど、文学理論の考え方を援用した小説や詩の読解方法について考えます。

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
27	小見山 純一	こみやま じゅんいち	音楽	音楽	合唱指導・ピアノ伴奏法	•より豊かな表現を目指した合唱指導 •合唱におけるピアノ伴奏の役割と実技指導
28	島袋 修	しまぶくろ おさむ	数学	数学	中学校・高等学校の代数学における内容と指導	講習のねらい：代数領域について学んだ上で、生徒の学習意欲を喚起する指導のあり方について知見を深め、数学科の授業力・指導力の向上を図る。 講習到達目標：授業で指導する代数領域について理解を深める。これらを通して、生徒の活用力を高める授業づくりの知見を深める。
29	高木彩也子	たかぎ あやこ	音楽	音楽	声楽(発声・歌唱)	児童・生徒への「自然で無理のない」発声・歌唱指導実践。歌う喜びを体感するための歌唱指導法について考えます。
30	濱千代 いづみ	はまちよ いづみ	国語	国語	文の組み立て	日本語の文の組み立て、述語の組み立ての特徴を整理し、あいまいな文がどのようにあいまいなのかを検討し、あいまい性をなくす方法を考えてみる。
31	早矢仕 晶子	はやし あきこ	保育	図工	観ること・造ること－自身の表現活動を通じてー	工芸的なモノづくりを通して、制作過程の重要性を確認し、作品を使う喜びを味わうことで、制作をより身近に感じられることを期待する。さらに、自身の表現活動を通じて、鑑賞を深めることを目的とする。
32	福田 茂隆	ふくだ しげたか	数学	数学	代数的幾何学	楕円や放物線や双曲線のように方程式で定められた図形について、現代代数学および現代幾何学の立場から考察する。
33	藤垣 佳子	ふじがき よしこ	数学	数学	解析学	関数のグラフや方程式の扱い方について具体例を用いて解説する。
34	宮川 典之	みやがわ のりゆき	社会	社会・現代経済	グローバル・エコノミーと経済格差	19世紀から20世紀、そして現在にかけて経済のグローバル化が拡大してきた。貿易の自由化、資本の自由化、各部門の民営化など、いまの日本経済の現状をみても大いに関係している。教育の格差問題を含む諸論点を歴史的視座から考察する。
35	宮本賢二朗	みやもとけんじろう	音楽	音楽	電子キーボードを用いた合奏　編曲の手引き	小学校の全学年合奏、中学の音楽活動について、電子キーボードを効果的に用い、様々な楽器や歌が加わることのできる編曲法、活動形態について紹介します。
36	村田 睦美	むらた むつみ	音楽	音楽	ピアノ伴奏法	・合唱や歌唱教材におけるピアノ伴奏の方法 ・ピアノ伴奏に必要な基礎的な内容や実技指導

【生徒指導・道徳指導】

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
37	安部 日珠沙	あべ　かずさ	社会	社会・道徳教育	「よりよく生きる」とは何か	道徳科における道徳教育の目標は「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うこと」であるが、「よりよく生きる」ことの原点を辿ると、ソクラテス哲学にまで遡ります。ここでは、ソクラテスの「よく生きること」に関する思想から、現代における「よりよく生きる」ことについて理解を深めていきたいと思います。
38	芳賀 高洋	はが たかひろ	教職	情報モラル	デジタル・シティズンシップ、情報倫理教育	GIGAスクールによって1人1台の端末が実現しましたが課題も山積です。新しい考え方であるデジタル・シティズンシップを紹介します。※90分以上のワークショップとなります。
39	林　一真	はやし かずま	教職	生徒指導・道徳指導	デジタル・シティズンシップの第一歩	児童生徒1人1台端末の活用が進む一方で、児童生徒が本来の趣旨とは違う活用をしてしまう等の課題も見られます。端末を安全で責任をもって活用し、よき使い手となる上で大切な理念である「デジタル・シティズンシップ」について、学校現場目線で、ワークショップを通して考えます。
40	林　一真	はやし かずま	教職	生徒指導・道徳指導	デジタル・シティズンシップの授業提案・支援	子どもたちが安全で責任ある端末活用ができるように、目の前の問題を自分事としてとらえ、主体的に解決策を導く「デジタル・シティズンシップ」の授業を提案・支援します。

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
41	山田 貞二	やまだ ていじ	教職	道徳科	道徳の授業づくり	・道徳科の授業づくり ・少経験者のための道徳基礎講座
42	龍崎 忠	りゅうざき ただし	教職	道徳教育	「うれしい道徳」のための授業づくりと評価	道徳科の授業を「成長実感のある＝うれしい道徳」というモデルで捉え直してみませんか。道徳科は自分自身のあり方生き方に関わるものであるはずだからです。道徳科の授業を通して、子どもたちも教師自身も成長できるよう、最新の理論と具体例を交えて進めていきます。

【総合的な学習の時間】

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
43	河智 義邦	こうち よしくに	社会	総合的学習	いのちの教育と宗教的情操	金子みすず、相田みつをなどの詩を真に理解するには、彼らに大きな影響を与えた仏教の「いのち」観を考慮する必要がある。その関連性を考えてみます。
44	斎藤 孝	さいとう たかし	社会	憲法・社会	日本国憲法の成立と基本原理	・成立の背景 ・三つの基本原理
45	中島 葉子	なかしま ようこ	教職	教育社会学・教育学	多文化共生の視点での国際理解教育	日本人の子ども・外国人の子どもともにルーツが多様化する現在において、「異文化を知る」国際理解教育から一歩進み、相互理解と関係づくりを中心とした国際理解教育の実践例を各学校の状況に合わせながら考える。
46	森田 匡俊	もりた まさとし	社会	地理学	地図からはじまる学校防災	・街歩きによる情報収集とマップ作成 ・避難計画と訓練 ・学校防災の取組み事例紹介

【学校心理】

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
47	安藤 史高	あんどう ふみたか	学校心理	教育心理学	学習動機の理論	子どもたちの学習に対する動機づけの状態は、「ある／ない」「高い／低い」というだけでなく、さまざまな視点からとらえることができる。ここでは、学習動機に関するさまざまな心理学理論について概説し、動機づけを育むための考え方について紹介する。
48	髙村 和代	たかむら かずよ	学校心理	発達心理学	児童期・青年期の発達の理解	・生涯発達における児童期青年期の位置づけ ・児童期青年期の発達特徴 ・児童期青年期の子どもへの対応
49	成田 絵吏	なりた えり	学校心理	臨床心理学	援助的かかわりについての理解	・様々な課題や悩みについて臨床心理学という視点から理解を深め、主に学校という場において望ましい援助的かかわりについて考える。 ・子ども・若者の心の健康への理解

【特別支援教育】

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
50	永井 祐也	ながい ゆうや	特別支援教育	病弱教育・ 発達障害の二次障害	児童生徒の安心感を高める提案と交渉の工夫	不登校や発達障害等の教育的ニーズを有する児童生徒だけでなく、全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることができることを目指して、教員の一人一人の児童生徒に対する向き合い方を考えます。
51	野村 香代	のむら かよ	特別支援教育	発達臨床心理学	特別なニーズのある子どもたちへの支援	子どもたちが抱える苦手さや、困り感を知り、彼らのニーズに対応した支援のあり方について考える。また、保護者への対応方法を実践的に検討する。

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
52	松本 和久	まつもと かずひさ	特別支援教育	知的障害教育・障害理解教育	共生社会の実現を目指して	・特別支援学級・特別支援学校の授業づくり ・特別支援教育におけるキャリア発達支援 ・望ましい交流及び共同学習の在り方 ・通常の学級の児童生徒への障害理解教育
53	安田 和夫	やすだ かずお	特別支援教育	発達障がい・共生社会	どの子も輝く 授業づくり 学校づくり 地域づくり	・発達障がいのある幼児児童生徒の理解と支援 ・みんなが「わかる」「できた」「がんばった」といえる授業づくり ・気がかりな子どもとの関わり方
54	安田 和夫	やすだ かずお	特別支援教育	共生社会・人権教育	多様性教育の尊重ーみんないっしょにー	外国につながりのある子どもや家族への理解と支援・ヤングケアラーへの理解と基本的な関わり方

【学校(学級)運営・経営】

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
55	中島 葉子	なかしま ようこ	教職	教育社会学・教育学	多文化共生の視点での学校づくり	外国人児童生徒の教育支援を数ある教育的課題の一つと位置づけ、学力向上・いじめなど各学校が取り組む他の課題と関わらせながら、多様なルーツやニーズをもつ子どもたちも日本人の子どもたちもともに過ごしやすい学校づくりを考える。
56	芳賀 高洋	はが たかひろ	教職	情報運用	教育関係の著作権、個人情報の取り扱い	学校と著作権問題(教育における著作物利用)、学校における個人情報の取り扱い。※90分以上のワークショップとなります。
57	福地 淳宏	ふくち あつひろ	教職	特別活動・学級経営・若手育成	「居場所と絆づくり」を大切にした温かな学級経営の在り方	日常における学級経営の悩みを共有しながら、皆さんと一緒に解決策を探り、今後求められる学級づくりの在り方を深め合います。
58	福地 淳宏	ふくち あつひろ	教職	学校経営・危機管理・若手育成	子供一人一人の命を守り、主体性や自治力を育む学校づくり	いじめ、防災など日常における危機対応や、子供と教職員が主体性・創造性を発揮しながら活動を充実させる意欲的な教職員集団の在り方について皆さんと一緒に考え合います。
59	福地 淳宏	ふくち あつひろ	教職	学校運営経営	これからの学校で求められるミドルリーダーの在り方	学校経営参画についての日頃の悩みを共有しながら、これからの学校において期待されるミドルリーダーの在り方を皆さんと一緒に考え合います。
60	吉田 琢哉	よしだ たくや	学校心理	パーソナリティ心理学	コミュニティ・スクールー地域連携が子どもと地域に好循環をもたらすにはー	県内の小中学校でご協力いただいたアンケート調査とインタビュー調査の結果をもとに、どのような地域連携のあり方が子どもと地域の双方に恩恵をもたらすかについて理解を深めることを目指します。

【生涯学習・その他】

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
61	秋山 晶則	あきやま まさのり	社会	社会	記録史料（アーカイブズ）の世界	記録史料とは、古文書から現代の電子情報まで、歴史研究に利用可能なすべての一次情報物を包括する概念である。民主主義の砦とも評される記録史料をめぐる現状と課題を考察するとともに、古文書を事例として、そこに含まれる情報や整理・保存・活用のあり方について検討する。
62	大西 薫	おおにし かおる	保育	幼児教育・保育	保育現場における子どもの病気・ケガへの対応	幼児教育・保育の現場でかかりやすい病気についての知識とともに、病気の症状とその意味について解説します。また、保育者として対応することが多い、すり傷や鼻血、咬み傷・引っ掻き傷の応急手当について学ぶとともに、保護者への伝え方を一緒に考えていきます。
63	大西 薫	おおにし かおる	保育	幼児教育・保育	保育にいかす保健の知識	乳幼児期において、食事・睡眠・清潔・排泄・着替えといった基本的生活習慣の獲得は今後ますます重要となってきます。特に食事や睡眠について、基本的な知識を再確認したうえで、今の保育を振り返り、より良い保育を一緒に考えていきましょう。

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
64	小栗 和雄	おぐり かずお	体育	体育・運動生理学	健康・スポーツ科学のウソ・ホント	科学・医学が発展し、健康やスポーツ科学に関する情報が溢れているが、「怪我のアイシングは3日間続ける」、「乳酸は疲労物質」など科学的根拠に基づかない情報が非常に多い。そこで、自分の健康行動を自分で決めるために、身近な健康情報の真偽について検証し、「真実」を見極める科学の目を養いたい。
65	蔵冨 恵	くらとみ けい	学校心理	認知心理学	集中するとはどういうことか	何かに対して集中したり、させたりすることは難しい。ここでは、本質的に集中とはどのようなことなのかを認知心理学の視点から概説し、集中力を高める方法を考えていく。
66	煙山 千尋	けむりやま ちひろ	体育	保健体育・健康心理学・健康科学	ストレスのしくみとその対処	人は日々、多くのストレスに曝されている。身近なストレスの問題について、ストレスとは何か、ストレスのメカニズムを理解し、その対処法について学ぶ。
67	竹本 康史	たけもと やすふみ	体育	発育・発達	子どもをその気・やる気にさせるコーチング	スポーツ少年団・中学校部活動等の指導経験による具体例を示しながら、子どもたちをその気にさせ、やる気をおこさせることの重要性やその方法を講義する。
68	平林 豊樹	ひらばやし とよき	社会	社会学	理論社会学	社会的再生産論と個人化論（リスク社会論を含む）との共存時代として現代を捉える。また、文化的生産物の生産と受容とのプロセスを解明する。
69	藤田 哲也	ふじた てつや	保育	児童福祉	児童虐待の対応	児童虐待の背景・要因、発見のポイントや対応、相談・通告の組織的対応について、事例を交えながらその対応について検討する。
70	本多 恭子	ほんだ やすこ	保育	栄養学	青年期からの食生活を考える	急速な寿命の延長にともない「健康で長生き」する健康寿命が重視されるようになりました。「健康で長生き」するための青年期からの食生活について考えましょう。
71	真鍋 顕久	まなべ あきひさ	保育	社会福祉	傾聴の実践	子どもにとっての「寄り添い合う心の存在」となるための傾聴（受容的態度で相手の気持ちをじっくりと聴く）の姿勢や技法について考える。
72	水谷 亜由美	みずたに あゆみ	保育	幼児教育・保育	乳幼児の生活と遊び－事例を通して考える子ども理解と援助－	「子どもを理解すること」が保育の出発点であり、そこから子どもの育ちを促す援助が生まれるといわれます。乳幼児の生活や遊びの具体的な事例を通して、出来事の背景や子どもの思い、それに応じた援助について考えていきたいと思います。
73	宮本賢二朗	みやもとけんじろう	音楽	音楽	外国人児童（低学年）のため音楽活動を用いた日本語習得支援	日本語の初歩をリズムや簡単な旋律を用いて、体を動かしながら学ぶ指導法について体験します。
74	宮本賢二朗	みやもとけんじろう	音楽	音楽・学級活動	外国の子どもの歌を二言語で歌おう	ブラジル（ポルトガル語）、チリ・ペルー（スペイン語）、フィリピン（タガログ語）等の遊び歌を原語と日本語とのニ言語で歌って遊ぶ活動を遊びながら体験します。
75	龍崎 忠	りゅうざき ただし	教職	教育学	臨床教育学とは何か	近年耳目を集める臨床教育学について、全体像をつかむことを通して、それが従来の教育学とどのように異なり、またどのように示唆を与えてくれるのか、検討してみたいです。
76	龍崎 忠	りゅうざき ただし	教職	幼児教育・保育	カリキュラム・マネジメントと保育者/教師としての私	子どもたちの「育ち」を支えるカリキュラムをデザインしマネジメントするとは、いったいどのような営みなのでしょうか。そして、保育者/教師として私たちはそれにどのように関わっているのでしょうか。日々の保育/教育を語り合い振り返ることを通して、「ときめき」のある保育/教育を実現できるよう、知恵を出し合ってみませんか。

【追加(6月22日更新)】

講義番号	氏名	ふりがな	所属・専修	分野・教科名	題目	概要
77	糟谷 咲子	かすや さきこ	教職	情報教育	ICTの利活用	幼稚園～中学校におけるICTの活用、プログラミング学習
78	内藤 譲	ないとう ゆずる	体育	スポーツバイオメカニクス	運動やスポーツ動作の“コツ”	運動やスポーツ動作の上達には、力任せではなく効率的な身体の使い方、つまり“コツ”の理解が重要となります。スポーツバイオメカニクスの知識や力学的観点を踏まえ、“コツ”を理論的に理解し、指導に活かすヒントを学ぶ。
79	三島 晃陽	みしま こうよう	教職	総合的な学習（探究）の時間	総合的な学習（探究）の時間の単元・授業づくり	探究的な学びの質を高めていくカリキュラムデザイン・マネジメントから授業まで総合的な学習（探究）の時間についての職員研修を行います。
80	堤 優貴	つつみ ゆうき	教職	教育学	現代教育学の理論	最新の教育学の動向を紹介し、現代教育を幅広い視野で捉えます。
81	久田 義純	ひさだ よしずみ	国語	国語	文学的文章の学習指導	義務教育段階における文学的文章を対象に、どのようにしたら「読み深め」られるのか、具体的な学習指導方法を共に考えましょう。

：教員の派遣回数制限のためご依頼を受けられない講義（6月29日時点）